

「見える化」「言える化」「直せる化」活動

No. 1



【安全靴「手・足確認」ワッペン】

- ・安全靴の先端に貼り付け、手元・足元の安全確認を指差呼称で「言える化」の推進
- ・手⇒挟まれ・巻き込まれの危険。手元ヨシ!
- ・足⇒墜落・転落の危険。足元ヨシ!



No. 2



【安全の鬼パトロール(専用ゼッケン)】

- ・社内で選抜され、1ヶ月間専門教育を受けた「安全の鬼」認定者による職場巡視活動。
- ・専用ゼッケンを付けて巡視を行い、不安全行為等は、鬼になって厳しく指導する。



鬼パトロール  
実施報告書

No. 3



【安全の鬼、認定バッジ】

- ・上記の「安全の鬼」認定者は認定バッジを胸に付け、積極的な注意・助言の「言える化」を図っている。

No. 4



【危険のポイント「イラストKY対策シート」】

- ・危険のポイントをイラスト化したシート集に作業開始前、重要危険ポイントにマーキングして、安全対策をイラストで確認する取組活動を行っている。

イラストによる危険予知の「見える化」

No. 5



【安全服装の等身大掲示板】

- ・正しい安全服装や着用すべき保護具類を等身大で掲示し、自分の安全服装の状態を比較チェックする。
- 安全服装の「見える化」

No. 6



【危険・禁則事項の写真掲示】

- ・写真は「吊荷の下には手を入れない！」

災害事例の教訓を風化させない。類災防止を図ることを目的に、災害再現写真による「見える化」を図っている。

No. 7



【ヘルメットの蓄光テープ貼付】

- ・夜間等暗い場所で、所在を確認し易くする為、蓄電性テープをヘルメットに貼付している。
- 所在確認の「見える化」

蓄光テープ

No. 8



【設備安全柵重要扉塗色】

- ・設備周囲の安全柵について、ライン立入用開閉扉には赤色塗色と関係者以外「立入禁止」表示を付けて、危険箇所の「見える化」と設備改善の「直せる化」を実践している。